



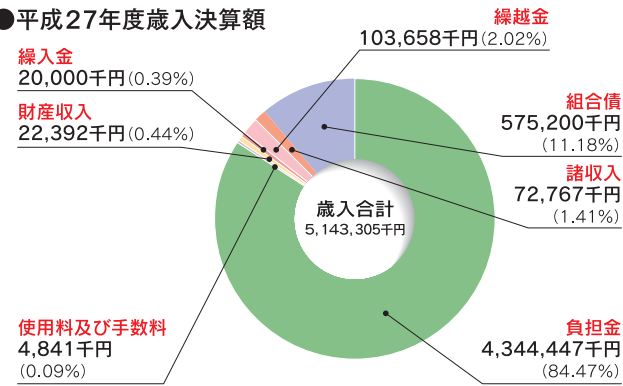
緊急消防援助隊出動

当消防本部は、平成28年4月14日に発生した熊本県熊本地方を震源とした地震に伴い、福岡県大隊として延べ97名の隊員を派遣し、発災日から平成28年4月27日までの14日間にわたり活動を行いました。



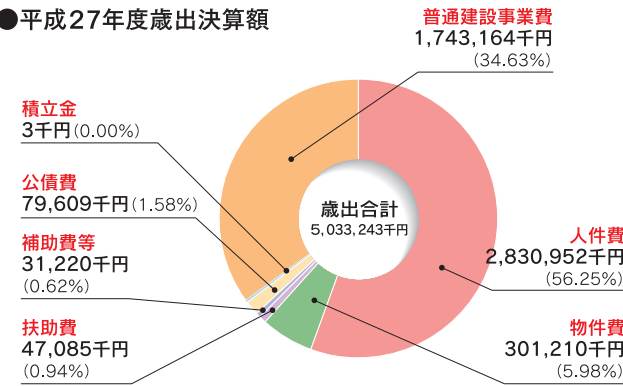
広域消防特別会計歳入決算額の財源別内訳

●平成27年度歳入決算額



広域消防特別会計歳出決算額の性質別内訳

●平成27年度歳出決算額



人事行政の運営等の状況について

久留米広域市町村圏事務組合(久留米広域消防本部)では、「人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、圏域のみなさんに、職員の任用、給与、服務等について平成27年度の概要をお知らせします。

【職員の任免及び職員数に関する状況】

①職員の採用及び退職の状況(平成27年度)

採用者数	退職者数
10人	5人

②職員数の状況(各年度4月1日現在)

区分	消防職員
平成28年度	374人
平成27年度	370人
対前年度増減数	4人



(注)職員数は一般職に属する職員数であり、休職者、派遣職員などを含み非常勤職員を除いています。

【職員の給与の状況】

①人件費の状況

区分	久留米広域消防本部管内人口	歳出額(A)	人件費(B)	人件費率(B/A)
平成27年度(決算額)	425,869人	5,033,243千円	2,830,952千円	56.2%

(注)人件費には共済費を含みます。

②職員給与費の状況

区分	職員数A	給与費			1人当たり 給与費年額(B/A)	
		給料	職員手当	期末・勤勉手当		
平成27年度(決算額)	370人	1,299,109千円	392,600千円	501,868千円	2,193,577千円	5,929千円

(注)職員手当には退職手当を含みません。

③職員の平均給料月額(平成28年4月1日)

区分	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
消防職員	295,439円	372,483円	37.4

(注)「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる諸手当の合計です。

④職員の初任給の状況(平成28年4月1日)

区分	大学卒	短大卒	高校卒
消防職員	190,200円	176,700円	160,200円

【職員の勤務時間その他の勤務条件の状況】

勤務別	1週間の勤務時間	勤務時間	
毎日勤務職員	38時間45分	8:30~17:15	7:45(1日)
隔日勤務職員	38時間45分	8:30~翌日8:30	15:30(1当務)

災害情報をメールでお知らせ

火災情報(発生時間、場所及び消火時間)を個人の携帯にメールでお知らせするサービスを行っています。

右のQRコードを読み取り、アクセスしてください

※メールの登録は無料ですが、通信費用は受信者負担となります。
※利用状況等の影響でメール受信が遅れたり、届かない場合があります。

アドレスかQRコードより登録



<http://www.center-chikugo119.jp/fire/saigai/pb/mobile/pb.html>

災害情報や日曜祝日に
診療できる病院の案内電話番号
0180-999-789



久留米広域消防本部ホームページでも災害情報や日曜祝日に診療できる病院を見ることができます。

久留米広域消防本部

ホームページアドレス

<http://www.fire-city.kurume.fukuoka.jp/fire/index.html>

消防に対するご意見・ご要望等がございましたらホームページからメールでお寄せください。

平成29年
4月1日～

予防業務の窓口を一本化します!

現在、各消防署の警防課で行っている「建物に対する同意事務、危険物施設の許認可事務」を消防本部予防課(4階)で行うことで、統一した見解に基づく適切な指導が可能となります。

主な申請・届出等は以下の場所での受付に変更になります。

予防課で受付

●業者等が申請する許認可・同意に関する申請

各消防署・出張所で受付

●条例等に基づき、住民・関係者が提出する届出

※従来どおり各消防署で受け付けを行う申請、届出もありますので、詳細についてはHPをご覧ください。

平成28年
3月15日(火)

日商保険コンサルティング株式会社様から 楽器等が寄贈されました!

日商保険コンサルティング株式会社(久留米市通町)様より、消防音楽隊が行う防火・防災広報に寄与することを目的として、久留米広域消防本部(久留米広域市町村圏事務組合)にドラムセットをはじめ、バスクラリネットやサクソフーン等が寄贈されました。



救急救命士が行う処置の範囲が広がりました!

救急救命士法施行規則が改正され、救急救命士が行う処置の範囲が拡大されました。これを受けて、当消防本部では地域の医療機関の連携のもと、新たに拡大された2つの処置の実施に必要な講習及び実習などを終了し、平成28年8月1日より運用を開始しています。

なお、今回拡大される救急救命士による処置を断わっても、これまでどおりの救急搬送がなされ、不利益な取り扱いを受けることはありません。

これまで、救急救命士が医師の具体的指示を受けて行うことができる処置は、心肺機能停止後の傷病者に対する処置に限られていましたが、心肺機能停止前の重度傷病者に対して以下の2つの処置が実施できることとなり、救命率の向上が期待されます。



情報を伝える

傷病者の情報を受けて、状況を把握します。



指示を与える

医師の具体的指示を受けて、救急救命士が処置を行います。

拡大される救急救命処置は以下の行為です。

■低血糖性の意識障害がある傷病者に対して血糖測定を行い、低血糖が確認された場合にはブドウ糖溶液を投与します。

■血圧が低下しており、心臓が停止する危険性があるショック状態の傷病者に対して、輸液(点滴)を行います。

拡大された救急救命処置は、認定を受けた救急救命士にのみ認められる行為であり、処置の実施可能な救急救命士を計画的に養成していきます。

平成28年
3月14日(月)

浮羽地区防災協会からミニ消防車 『レッド号』が寄贈されました!

浮羽地区防災協会より創立40周年の記念事業として、久留米広域消防本部(久留米広域市町村圏事務組合)にミニ消防車が寄贈され、防火の心を養うことを目的に、消防署が行うイベントや子ども向けの各種事業等で活用します。この車両は浮羽消防署に配備されており、車両の名称を管内の保育園児と幼稚園児から公募し、「レッド号」と命名しました。



第10回 ふれあい防災イベント開催!



▲第9回イベントの様子

今年は久留米市の新たなランドマークである「久留米シティプラザ六角堂広場」で開催します。イベントでは、おにぎりや消防カレーの配布をはじめ、消防車両の展示や防火衣試着などの消防体験、消防音楽隊の演奏など多くの市民の方に消防・防災について楽しく学んで頂くことを目的としています。

また、今回は久留米市のセーフコミュニティフェスタと共同開催しますので、いろんな体験ができること間違いなし。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

日時 平成28年10月8日(土)

11時～15時

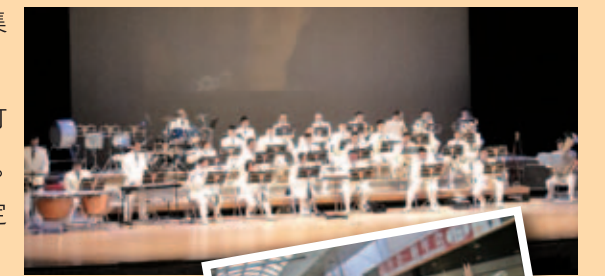
場所 久留米シティプラザ六角堂広場

九州地区消防音楽隊フェスティバル開催!

春の火災予防週間を前に、九州地区の11消防音楽隊が集まって、防火マーチングパレードや合同演奏会を行います。

詳細は、久留米市、小都市、うきは市、大刀洗町及び大木町の広報誌をはじめ、ホームページなどで事前にお知らせします。

また当日は、六角堂広場でミニイベントも同時開催する予定です。ぜひご来場ください。



日時 平成29年2月25日(土)

場所 久留米シティプラザ ザ・グランドホール
久留米ほとめき通り商店街ほか



▲パレードの様子